食品安全委員会（第459回会合）議事概要

日時：平成25年1月7日（月） 14：00～15：04

場所：食品安全委員会大会議室

出席者：熊谷委員長ほか5名出席

傍聴者：報道1名、役所2名、一般4名

議事概要

- (1) 食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

- ・ 遺伝子組換え食品等 1品目
ARG-No. 3株を利用して生産されたL-アルギニン

→厚生労働省から説明。

本件については、遺伝子組換え食品等専門調査会において審議を行うこととなった。

- (2) 食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見について

- ・ 農薬「アメトクトラジン」に係る食品健康影響評価について
- ・ 農薬「フェンピロキシメート」に係る食品健康影響評価について

→事務局から説明。

「アメトクトラジンの一日摂取許容量を2.7mg/kg体重/日と設定する。」「フェンピロキシメートの一日摂取許容量を0.0097mg/kg体重/日と設定する。」との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）へ通知することとなった。

- ・ 動物用医薬品「孵化を目的としたニシン目魚類のプロノポールを有効成分とする魚卵用消毒剤（パイセス）の再審査」に係る食品健康影響評価について

→担当委員の三森委員及び事務局から説明。

本製剤については、「適切に使用される限りにおいて、食品を通じてヒトの健康に影響を与える可能性は無視できると考えられる。」との審議結果が了承され、リスク管理機関（農林水産省）へ通知することとなった。

- ・ 動物用医薬品「リンコマイシン」に係る食品健康影響評価について

→事務局から説明。

「リンコマイシンの一日摂取許容量を0.0032mg/kg体重/日と設定する。」との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）へ通知することとなった。

- ・動物用医薬品及び飼料添加物「ナラシン」に係る食品健康影響評価について

→事務局から説明。

「ナラシンの一日摂取許容量を0.005mg/kg体重/日と設定する。」との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）へ通知することとなった。

- ・遺伝子組換え食品等「チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統、チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ1507系統、除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統、コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ*B. t. Cry34/35Ab1* Event DAS-59122-7系統並びにアрилオキシアルカノエート系除草剤耐性トウモロコシ40278系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種（既に安全性評価が終了した11品種は除く。）」に係る食品健康影響評価について

→担当委員の山添委員及び事務局から説明。

「『遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方』に基づき、改めて安全性の確認を必要とするものではないと判断した。」との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）へ通知することとなった。

（3）食品安全委員会の運営について（平成24年10月～12月）

→事務局から報告。

（4）企業申請品目に係る食品健康影響評価についての標準処理期間の達成状況について

→事務局から報告。